ISSN 1349-2721

人間看護学研究

Journal of Human Nursing Studies

13
2015
March

滋賀県立大学人間看護学部

人間看護学研究

No.13 March 2015

滋賀県立大学人間看護学部

人間看護学研究

編集委員長　山田　明
編集委員　森　敏
平田　弘美
大脇万起子
渡邊友美子

Journal of Nursing Studies

Editor-in-Chief　Akira Yamada
Editors　Satoru Mori
Hiromi Hirata
Makiko Oowaki
Yumiko Watanabe

人間看護学研究　第13号
発行日　2015年3月31日
発　行　滋賀県立大学人間看護学部
〒522-8533滋賀県彦根市八坂町2500
電　話　0749－28－8631
ファックス　0749－28－9501

印刷所　㈲東呉竹堂(ひがし印刷)

ISSN 1349-2721
School of Human Nursing
The University of Shiga Prefecture
2500 Hassaka,Hikone,Shiga,522-8533 Japan
tel 0749－28－8631, fax 0749－28－9501

Printed by HIGASHI PRINT

人間看護学研究投稿規定

（平成18年５月17日改正）

１．趣旨

この規定は、人間看護学研究の発行に必要な事項を定める。

２．発行

原則として毎年度１回発行する。

３．投稿者の資格

原則として、滋賀県立大学人間看護学部の教員等が、第一著者あるいは共著者であること。ただし、人間看護学研究編集委員会（以下「編集委員会」という）から依頼された原稿に関してはこの限りではない。また、滋賀県下の関係者については、編集委員会の判断により投稿を認める場合がある。

４．原稿の種類

（1）原稿の種類は、下記の通りとする。

原著論文：独創的で、新しい知見や理論が論理的に示されており、論文としての形式が整っているもの。

総説：ある主題に関連した研究・調査論文の総括および解説

研究ノート：内容的に原著論文の域に達していないが、研究結果の意義が大きく、発表の価値があるもの。

活動と資料：看護活動に関する実践報告、調査報告、有用な資料など。

フォーラム：人間看護に関わる海外事情、関連学術集会の報告、および掲載論文に対する意見など。

書評と紹介：内外の人間看護学研究に関係する図書，論文および研究動向について批評，紹介をおこなうもの。

学部広報：人間看護学部の動向や記録事項など。

（2）原稿の種別は著者が行うが、編集委員会が種別変更を求める場合がある。

５．原稿の制限事項

（1）投稿原稿は、国内外を問わず未発表のものに限り、重複投稿は禁止する。

（2）原稿は刷り上がり（原稿1頁は2400字）で、写真・図表を含めて下記の制限枚数内とする。

原著・総説・研究ノート：12頁以内

活動と資料：６頁以内

他の原稿は２頁以内とするが、学部広報は制限を設けない。

６．倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的な配慮がされており、必要に応じて倫理審査委員会等の承認を得ていること。また、原稿中にもその旨が明記されていること。

７．投稿手続

（1）原稿３部（うち２部は表紙・抄録から著者名・所属名を削除する）を編集委員会に提出する。

（2）最終修正原稿を提出するときには、本文をワード形式で、図表をワード・エクセル形式で保存したパソコン記憶媒体（CD、USBなど）を添付する。

（3）提出場所

持ち込みの場合：編集委員会

郵送の場合：封筒の表に「人間看護学研究原稿」と朱書きし、下記に書留郵送する。

〒522-8533　彦根市八坂町2500

滋賀県立大学人間看護学部

人間看護学研究編集委員会

８．原稿の受付

上記７の投稿手続を経た原稿が、編集委員会に到着した日を受付日とする。なお、受付した原稿等はオリジナルを除いて理由の如何を問わず返却をしない。

９．原稿の採否

（1）原稿の採否は査読を経て編集委員会が決定する。

（2）査読結果により原稿の修正を求めることがあるが、修正を求められた原稿著者は、編集委員会の指定した期日までに内容修正を行い再投稿すること。指定された期日以降に再投稿された場合は、原則として新規受付の取り扱いをする。

10．著者校正

査読を経て、編集委員会に受理された最終原稿については、著者校正を１回行う。但し、校正時の加筆は原則として認めない。

11．執筆要領

原稿の執筆要領は別に定める。

12．著作権

原稿内容についての第一義的責任と権利は著者に帰属するが、原稿の編集・出版および電子情報化など２次的使用に関する権利は、編集委員会が著者から委託されたものとする。

なお、著者が電子情報化を希望しない場合は、投稿時に編集委員会に文書で申し出ることとする。

13．掲載料・別刷

掲載料は無料とする。但し、特殊な図表等で特別な経費を要した場合には著者負担とする場合がある。別刷は希望者のみとし、費用は著者負担とする。

原稿執筆要領

（平成24年１月25日改正）

１．原稿構成

（1）原稿は、表題頁、要旨、本文、文献、英文抄録、図・表の順とする。和文要旨、英文抄録の各末尾に6個以内のキーワード Key wordsをつける。

（2）表題頁には、表題、著者名、所属機関名を記し、その下に間隔をあけて連絡先（氏名、所属、住所、電話、Fax、E-mailアドレス）、原稿の枚数および図・表の数、希望する原稿の種類を明記する。和文の原稿にあっては、表題、著者名、所属名の英文訳を付すこと。

（3）原著論文の要旨は、研究の「背景」「目的」「方法」「結果」「結論」にわけて、見出しをつけて記載すること（1,000字以内)。その他の原稿の要旨には見出しをつけない（500字以内)。

（4）本文は、Ⅰ．緒言、Ⅱ．研究方法、Ⅲ．研究結果、Ⅳ．考察、Ⅴ．結語、の順に記載する。「総説」「活動と資料」の場合はこれに準じなくても良い。

（5）文献の記載は、2.(9)に従う。

（6）原著論文には英文抄録（500語以内）をつけること。その他の原稿の場合は、英文抄録を省略することができる。英文原稿の場合は、英文抄録と同様の要領で和文抄録をつけること。

２．執筆要領

（1）原稿はパソコンで作成する。

（2）原稿はＡ４版横書きで、１頁1200字（40字×30行）になるように作成する。

（3）原稿は、原則として、新仮名づかい、当用漢字を使用する。

（4）外国語はカタカナで、外国人や日本語訳が定着していない学術用語などは活字字体の原綴で記載する。

（5）数字は算用数字を用い、単位符号は原則としてSI単位（kg、mg、mm、ml、kcal、℃など）を用いる。

（6）国際的な共通語を使用し、一般的に認められている略語以外は説明なしでは使用しないようにする。特定分野でのみ用いられる略号、符号などに関しては、初出時に簡単な説明を加える。

（7）図・表は、それぞれ図１、表１などの通し番号をつけ、本文とは別にまとめ、本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。

（8）文献は、本文の引用箇所の肩に1） 2） のように半角上付き番号で示し、本文の最後に引用した番号順に記載する。雑誌略名は医学中央雑誌、Index Medicus, International Nursing Index に従う。

（9）文献の記載方法

著者名は3名までを表記し、それ以上は、“他”または“et al.”を用いる。

記述の順序は以下のとおり。

- 雑誌の場合：著者名：論文題名、雑誌名、巻（号）：最初頁～最終頁、発行年
- 単行書の場合：著者名、書名（版)、引用頁、発行年、発行所、発行地名
- 分担執筆の場合：著者名、章の標題（編者名)、書名（版)、引用頁、発行所、発行地名
- 訳書の場合：原著者名、訳者名、書名、引用頁、発行年、発行所、発行地名

（例）

滋賀一郎, 琵琶花子, 八坂太郎, 他：看護の方法. 看護雑誌30, 311-315, 2011.

滋賀一郎：看護の源流, 第３版, 333-354, 1995, ナーシング出版, 大津.

滋賀一郎, 琵琶花子：看護研究の方法. （明智太郎 他, 編）人間看護研究, 第３版, 333-354, 1995, ナーシング出版, 大津.

Biwa AB, Johnson P（著）, 滋賀一郎（訳）：看護研究, 第３版, 333-354, 1995、ナーシング出版, 大津.

目　次

巻頭言
森　敏

原著
看護学生の志望動機と実習達成感、看護職の職業的アイデンテイとの関係
清水美恵、古株ひろみ、本田可奈子、川端智子、玉川あゆみ … 1

脳卒中患者のセルフマネジメントの困難
－脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の語りからの検討－
片山将宏、横井和美、奥津文子 …… 9

研究ノート
長期療養高齢者への看護診断適用と診断支援コンピュータシステムの開発：タブレットPCを用いて
森　敏、上野悟、畑中裕司、奥津文子 …… 21

看護学生の共同作業認識と大学生活の経験との関連性
米田照美、川端愛野、伊丹君和、清水房江 …… 29

医療機関における発達障害児への看護の課題に関する文献検討
玉川あゆみ、古株ひろみ、川端智子、渡邊香織 …… 35

看護専門学校生の学業継続に影響する要因
住谷圭子、甘佐京子、松本行弘、山下真裕子 …… 43

子宮頸がん検診の受診行動への影響因子と受診率向上に向けた取り組みに関する文献検討
中村和代、渡邊香織 …… 51

地区診断に関する学習効果の検討
－実習前後の比較から－
馬場　文、飯降聖子，小林孝子，小島亜未，川口恭子 …… 59

看護における「巻き込まれ」の概念分析
－Rodgersの革新的概念分析法を用いて－
牧野耕次、比嘉勇人、甘佐京子、山下真裕子、松本行弘 …… 71

高齢者の慢性心不全患者の自己管理に関連した文献検討
光岡明子、平田弘美 …… 81

Translation and Validation of the Japanese Version of the Exposure to Disruptive Behavior Scale
平田弘美 …… 93

新人看護師の自殺のハイリスク者との関わりの現状
藤野裕子、甘佐京子、松本行弘 …… 103

活動と資料
高齢者におけるラフターヨガによる笑いの身体的・心理的効果に関する研究
山村みづほ、平田弘美 …… 111

Contents

Foreword
Satoru Mori

Original Articles
The Relationship between Motivation for Applying, Feeling of Achievement after Nursing Practice and Vocational Identity among Student Nurses
Yoshie Shimizu, Hiromi Kokabu, Kanako Honda. Tomoko Kawabata, Ayumi Tamagawa …… 1

Difficulty of a Stroke Patient's Self - Management ・Examination of Word Rika and Others, Stroke Rabilitation Nursing Certified Nurse -
Masahiro Katayama, Kazumi Yokoi, Ayako Okutsu …… 9

Notes
Application of the Nursing Diagnoses and Development of the Supporting Computer System for the Elderly in Long-term Care Facilities: By Means of Tablet Computers.
Satoru Mori, Satoru Ueno, Yuji Hatanaka, Ayako Okutu …… 21

Relativity with Experience of Joint Work Recognition and University Life of Student Nurse
Terumi Yoneda, Yoshino Kawabata, Kimiwa Itami, Fusae Shimizu …… 29

An Literature of Nursing Program Research on Children with Developmental Disease in Medical Institutions
Ayumi Tamagawa, Hiromi Kokabu, Tomoko Kawabata, Kaori Watanabe …… 35

The Factors of Program Completion among Nursing Students in Nursing Traning Schools
Keiko Sumitani, Kyoko Amasa, Yukihiro Matsumoto, Mayuko Yamashita …… 43

The Factors Associated with Cervical Cancer Screening Behavior and an Approach to Improve Screening Rate: A Literature Review
Kazuyo Nakamura, Kaori Watanabe …… 51

The Analysis of Comprehension about Community Diagnosis : Comparative Study of Practice
Aya Baba, Seiko Iburi, Takako Kobayashi, Ami Kojima, Kyoko Kawaguchi …… 59

Conceptual Analysis of Makikomare in Nursing Using Beth L. Roger's Analytical Method
Koji Makino, Hayato Higa, Kyoko Amasa、Yokihiro Matsumoto, Mayuko Yamashita …… 71

Literature Review of Self-Care in Elderly Patients with Chronic Heart Failure
Akiko Mitsuoka, Hiromi Hirata …… 81

Translation and Validation of the Japanese Version of the Exposure to Disruptive Behavior Scale
Hiromi Hirata …… 93

Current State of the Novice Nurses about Intervention in Suicide Highrisk Individual
Hiroko Fujino, Kyoko Amasa, Yokihiro Matsumoto …… 103

Reports and Materials
Physical and Psychological Effects of Laughter Yoga among Older Adults
Miduho Yamamura, Hiromi Hirata …… 111